

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: CODE BLUE

COLOR: 2 TONE BLUE + SILVER pearls

COVER STOCK: R3S PEARL REACTIVE

RG:2.50(Low-MED/15P) Δ RG:0.058 (MED-HIGH/15P)

FACTORY FINISH:1500-Grit Polished MB Diff: 0.020(15p)

TRACK FLARE POTENTIAL : 6+(HIGH)

BACK END:19.5 (1-20) MAX LENGTH:16 (1-20)

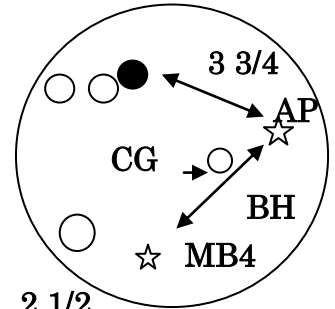
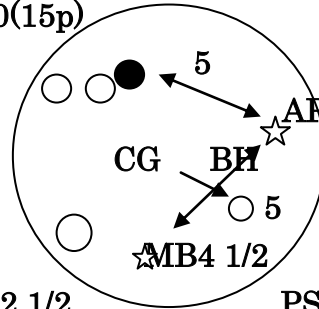


平成 26 年 2 月 26 日

レイアウト例

CODE BLACK

CODE BLUE



PSA 2 1/2

PSA 2 1/2

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

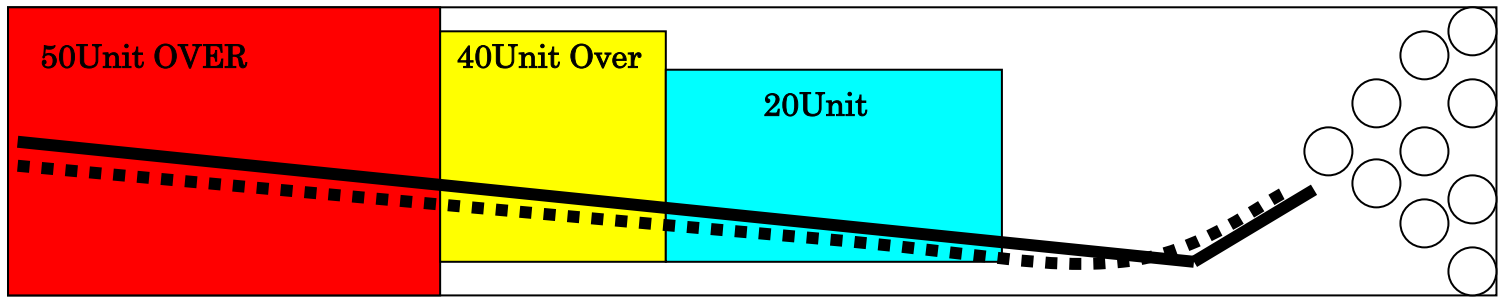
【MEDIUM OIL 編】

CA66.5 度

CA50.度

フラー幅 最大 6 1/8 ・ 間隔 1/8

最大 7 ・ 間隔 1/8



0F

15F

27F

38F

45F

比較品ライン

CODE BLUE

CODE BLACK

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ	新 RAD4 コア
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強	1	2	3	4	5			
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○						△	

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

コードシリーズの中では一番ピン前でシャープな動きが出ました。レーン手前でブラック同様の加速する直進性に転がりプラス。ブレイクポイントからの角度のついたキレからくるピンアクションは強烈そのものです。ミディアムドライで最高峰のボールですね。

【ここがポイント】



コードシリーズの進化は止まりません。ミディアムドライでの最高峰を目指すべくスキッド性能に磨きをかけて“転がりながら前に行く”事で安定性能を維持して、的確なブレイクポイントを確保します。RAD4+の角度の付いた曲がりにはコードシリーズの中では一番に感じます。日本以外のアジア諸国やアメリカにおいてもコードシリーズの支持者が増えているのはこの走り・キレのバランスが非常に安定している事からだと思います。キャリーダウンもさほど気にならない印象を受けました。センターコンディショニングや夜のリーグ戦には最適なミディアムドライ最強の製品に仕上がっています。

発売予定：平成 26 年 7 月中旬 テスト協力センター：本八幡ハタボウル 販売価格 ￥49,500 円 (税別)

テスター 石原 章夫プロ【HIGH SPORTS 専属契約プロ】